

## なはSDGs推進事業

### 「那覇市における部活動の地域移行に関する調査及びモデルケースへの模索」 調査報告書

#### 1. 調査概要

##### 1.1 目的

本調査は、沖縄県・那覇市における中学校の吹奏楽部を中心とした音楽系部活動の地域移行に関して、学校（顧問、学校長、音楽専科教員）、地域それぞれの立場において感じているニーズや課題を明確にし、次年度のより本格的な調査への論点整理に役立てることを目的に行った。

##### 1.2 調査方法・対象

以下の対象に、それぞれヒアリング調査とアンケート調査を実施した。

###### ヒアリング調査

調査方法	本事業の説明資料、先行事例の資料の内容を口頭で確認したうえで、部活動の地域移行に関して感じているニーズや課題について、非構造化インタビューを行った。
調査対象	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学校長：計5名 那覇中学校、上山中学校、寄宮中学校、鏡原中学校、城北中学校</li><li>● 音楽関連団体（沖縄県吹奏楽連盟、日本マーチングバンド協会沖縄支部）に所属する部活動顧問：計6人</li><li>● 音楽関連団体（沖縄県音楽研究会）に所属する音楽専科教員：計3人</li><li>● 地域団体（若狭公民館、若狭児童館）の職員：計2人</li><li>● 地域の音楽指導者：計5人</li></ul>

###### アンケート調査

調査方法	本事業の説明資料を共有したうえで、部活動の地域移行に関して感じているニーズや課題について、web質問紙にてアンケートを行った。
調査対象	<ul style="list-style-type: none"><li>● 那覇市内の吹奏楽部顧問：計16人</li><li>● 地域団体構成員（若狭小学校区まちづくり協議会、若狭地域連携会議）：計13人</li></ul>

	<p>若狭小学校区まちづくり協議会  (若狭小学校校長、若狭図書館館長、那覇中学校区青少年育成協議会、那覇第二民生委員児童委員協議会、若狭児童館館長、琉球フィルハーモニック、若狭児童クラブ、はびねす児童クラブ、若狭松山旗頭実行委員会、若狭1丁目自治会、若狭2丁目自治会、前島3丁目自治会、若狭めおと自治会、那覇市社会福祉協議会、ナハ・シー・パラダイス協議会、若狭小学校PTA)</p> <p>若狭地域連携会議  (若狭小学校校長、天妃小学校校長、那覇中学校校長、上山中学校校長、那覇市保護管理課、社会福祉協議会、子どもと地域をつなぐサポートセンター系、主任児童委員(若狭小・天妃小)、寄り添い支援員(那覇中学校区・上山中学校区)、学習環境プランナー、琉球フィルハーモニック、若狭松山旗頭実行委員会、地球ハートクラブ、ELIPO、めぶき、若狭公民館、チャンス・フォー・チルドレン、若狭児童館)</p>
--	---

### 1. 3調査実施期間

2024年11月20日～2024年12月27日

### 2. 調査結果の概要

#### 2. 1. ヒアリング調査結果の概要

##### 2. 1. 1学校長

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教員負担に関する課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 土日活動の負担増 部活動や大会・コンクールへの参加が多く、教員が土日に長時間拘束されている。 部活動の年間活動時間が長く、休日活動が増えることでワークライフバランスが崩れている。</li> <li>○ 専門外指導の負担 教員が専門外の部活動を指導せざるを得ない状況がある。 専門性が不足した指導による生徒の技術向上への影響が懸念されている。</li> <li>○ 管理業務の負担 鍵の開け閉めやエアコン管理などの細かな施設管理業務が教員の負担増加の要因になっている。 大規模行事や休日の施設運営の負担も加わり、業務が多岐にわたり過重な状況。</li> <li>○ 顧問任命に関する負担</li> </ul> </li> </ul>
----	--

	<p>学校長が顧問を選定する業務を担っており、教員に依頼すること自体が心理的負担となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域移行に向けての課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 予算の確保 地域移行を支えるための安定的な予算が不足している。財政支援の継続性が担保されていないため、持続的な運営が困難。</li> <li>○ 人材確保 地域での指導者や外部ボランティアの不足が顕著。持続可能な人材育成の仕組みが構築されていない。</li> <li>○ 施設利用の課題 拠点校を選定する際に地域住民のアクセスや利便性が十分考慮されていない。施設利用において公平性や効率的運用が実現されていない。</li> <li>○ 地域特性への対応 地域ごとに特性や課題が異なるため、統一的な運営が難しい。地域間のニーズを踏まえた柔軟な対応が求められているが、対応できていない。</li> </ul> </li> <li>● 地域と学校間の連携に関する課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対立の懸念 学校施設の利用や運営方法を巡り、地域と学校間での対立が懸念されている。特に、学校施設の管理権限や利用優先権について合意形成が難航することが懸念される。</li> <li>○ 情報不足 他府県の成功・失敗事例が十分に共有されていないため、具体的な計画を立てにくい。</li> <li>○ 地域住民の理解と協力の不足 地域移行のメリットが地域住民に伝わりきっていないため、協力を得にくい。地域が主体となる運営に対して、管理負担や運営の不安が生じている。</li> </ul> </li> </ul>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教員負担の軽減 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外部指導者の活用 外部指導者や地域ボランティアを活用することで、教員の直接的な負担を軽減してほしい。専門的な指導を行う仕組みを整備し、生徒の技術向上を支援してほしい。</li> <li>○ 指導体制の見直し</li> </ul> </li> </ul>

	<p>部活動の指導範囲を見直し、教員が部活指導以外の役割に注力できる体制を整えてほしい。</p> <p>(学校と連携して部活動を実施する場合) 部活動の運営時間を短縮・工夫し、長時間労働を抑制してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 業務効率化 鍵の開け閉めやエアコン管理などの施設管理業務を効率化してほしい。</li> <li>○ ITや自動化を活用した業務負担軽減策を導入してほしい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域移行の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 予算の確保と運用 地域移行を支えるための安定的な財政支援の仕組みを構築してほしい。</li> <li>○ 予算の透明性を確保し、効率的な資源配分を実現してほしい。</li> <li>○ 持続可能な人材育成 地域内で指導者を育成し、持続可能な人材確保の仕組みを整備してほしい。</li> <li>○ 地域企業や専門人材との連携を促進し、地域資源を最大限活用したい。</li> <li>○ 地域特性に応じた柔軟な運営 各地域の特性やニーズに応じたアプローチを策定してほしい。</li> <li>○ 地域ごとの成功事例を共有し、モデルケースを構築してほしい。</li> </ul> </li> <li>● 施設管理の効率化 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 拠点校の選定 アクセスや利便性を考慮し、地域住民が利用しやすい拠点校を選定し、拠点校が地域の中心的役割を果たせるよう、施設や設備を整備してほしい。</li> <li>○ 公平で効率的な施設運営 多様な地域ニーズに対応できるよう、柔軟かつ公平性を確保した施設利用ルールを明確化してほしい。</li> </ul> </li> <li>● 地域との協力体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報発信と啓発活動 行政には、地域住民や保護者の理解を深めるため、地域移行のメリットを積極的に発信し、地域住民への説明会や広報活動を通じた啓発を推進してほしい。</li> <li>○ 協力の仕組み作り 学校と地域住民が連携して取り組む体制を構築し、地域移行を進める上での共通理解を深める仕組みを整備してほしい。</li> </ul> </li> </ul>
--	--

## 2. 1. 2音楽関連団体（沖縄県吹奏楽連盟、日本マーチングバンド協会沖縄支部）に所属する部活動顧問

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 部活動移行に伴う調整の困難さ 各学校で同じ数の部活動を維持する必要があるが、人数の移動や調整に苦勞しており、スムーズな運営が課題となっている。</li> <li>● 行政の役割の不足 地域移行における行政の窓口機能が不十分。行政が主体となって調整を進める必要があるが、対応がはっきりしていない。</li> <li>● 楽器関連の課題 楽器を扱う環境（管理、保管）が不適切である場合や、運搬や利用に支障が生じており、楽器修繕にも多額の費用がかかっている。 また、楽器店にとっても移行が進まないことで販売機会が減少し、業界全体の活性化に悪影響が及ぶとの懸念がある。</li> </ul>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政の積極的な関与 部活動移行の窓口として、行政が調整役を担い、現場の負担を軽減してほしい。 現在の体制を見直し、部活動の地域移行に関する具体的なサポートを行う仕組みづくりを行ってほしい。</li> <li>● 環境の整備 楽器や備品の移動や保管に対応できるよう、物理的な環境を整備してほしい。 地域全体で楽器関連の課題を解決するための連携を検討してほしい。</li> <li>● 将来的な展望に基づく計画 現在の課題を短期的な視点で解決するだけでなく、持続可能な運営体制を構築してほしい。</li> </ul>

## 2. 1. 3. 音楽関連団体（沖縄県音楽研究会）に所属する音楽専科教員

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 連携の不十分さ 外部指導者や学校の顧問との情報共有が不十分であるため、指導方針の一貫性に課題がある。 コミュニケーション不足が、現場での混乱や誤解を生んでいる。</li> <li>● 財政的な負担 部活動運営に必要な資金が不足しており、保護者からの追加負担が必要になるケースが多い。 PTA会費の利用や参加費徴収が行われているが、それでも十分ではないという現状がある。</li> <li>● 現場の柔軟性の欠如</li> </ul>
----	---

	<p>一律のルールや方針では、学校や地域ごとの特性やニーズに対応しきれていない。</p> <p>指導内容や運営形態の多様性を確保する必要があるが、対応できていない。</p>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明確な連携体制 定期的な情報交換や連携会議など、学校と外部指導者が一体となった運営を行うための仕組みづくりを行ってほしい。</li> <li>● 適切な財政支援 部活動顧問や外部指導者への報酬体系を現場の実情に合わせて整備してほしい。 スポンサーや地域財源など新たな資金調達手法も検討してほしい。</li> <li>● 現場に合わせた柔軟な運営 子どもが高度な指導を望む場合には、そのニーズに応じて仕組みや報酬を設定できるようにしてほしい。 地域や学校ごとの状況に応じて、運営方法をカスタマイズする柔軟性があってほしい。</li> </ul>

#### 2.1.4. 地域団体（若狭公民館、若狭児童館）の職員

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域移行の認知と理解の不足 地域において、地域移行の重要性は認識されつつあるが、具体的なイメージや進め方についての共通理解が十分に形成されていない。 「地域展開」という概念の段階で止まっており、現場レベルでの具体的な実施計画が進んでいない。</li> <li>● 地域資源と人材の限界 児童数や学校規模による違いが影響しており、一部の地域では必要な職員やボランティアが不足している。 特に、部活動以外の取り組みにも地域の方が関わる必要があるが、人的資源の確保が難しい状況である。</li> <li>● 地域の連携体制の課題 地域連携会議やまちづくり協議会の会議後の具体的なアクションが弱く、会議での議論が現場に反映されていない。</li> </ul>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域移行の具体化 地域移行に関する具体的なモデルや成功事例が求められており、現場がイメージしやすい形での情報共有をしてほしい。</li> <li>● 人的資源の発掘と活用 美術やスポーツなど専門性のある人材を発掘し、学校や地域活動に参加させる仕組みを構築してほしい。</li> </ul>

	<p>部活動の地域移行に関して、地域住民を巻き込むための啓発や研修を実施してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域コーディネーターの必要性 地域人材の発掘と育成、部活動参加者・保護者・学校等との調整役が必要。</li> <li>● 段階的な展開 地域展開の前段階として、地域住民や学校との小規模な連携から始め、徐々に移行を進めていくアプローチが必要。</li> </ul>
--	---

### 2.1.5. 地域の音楽指導者

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 複数校合同運営の難しさ 少人数校同士での合同運営が必須となるケースが多いが、その際の運営責任者の役割やスケジュール調整が煩雑化している。複数校間での調整を進めるための明確なガイドラインが不足している。</li> <li>● 地域人材の不足 特にスポーツや芸術の専門スキルを持つ人材が不足しており、地域全体での支援体制が整っていない。子どもたちに直接関わる指導者だけでなく、運営を担う調整役の不足。</li> <li>● 財政的な制約 部活動の地域移行後の運営資金が十分に確保されない場合が多く、行政支援だけでは不十分である。保護者負担の増加により家庭間の格差が広がる。</li> <li>● 学校側の理解と協力不足 一部の学校で地域移行に対する理解が進んでおらず、消極的な姿勢が取り組みを阻害している。</li> <li>● 指導者間の連携 指導力が不十分なボランティア指導員と現行の指導方法について、連携・調整の必要性がある。</li> </ul>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調整役やガイドラインの整備 地域移行を円滑に進めるために、複数校間の利害調整を行う調整役の配置と、運営の統一ルールやガイドラインの整備を行ってほしい。</li> <li>● 地域人材の発掘と活用 地域の中高齢者や退職教員、大学生など、潜在的なリソースを発掘し、参加を促す仕組みと、専門性のある人材を教育・研修するためのプログラムが必要。</li> <li>● 資金調達の多様化 行政以外からの資金調達方法（例：企業スポンサーやクラウドファンディング）を整備する必要がある。</li> </ul>

	<p>資金運用の透明性を確保し、地域全体からの支援を募る取り組みも必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもたちの成長できる環境の整備と多様化 部活動に限らず、文化活動やボランティア活動など、子どもたちが主体的に選択できる多様な活動を提供し、成長できる環境を整えてほしい。</li> </ul>
--	--

## 2.2. アンケート調査結果の概要

### 2.2.1. 那覇市内の吹奏楽部顧問

調査結果では、部活動の地域移行に対して、教員自身や生徒にとって好意的な意見が多く寄せられた（Q3, 5, 7）一方で、心配な点があると答えた教員は81.3%（Q9）、地域移行がスムーズに行われないと答えた教員が87.5%（Q12）と多く上がり、部活動の地域移行に対して、期待が実現されないことへの不安感も見られた。

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教員の負担 部活動の指導や管理、土日活動、鍵の開け閉め、エアコン管理などの施設管理業務が教員の大きな負担になり、長時間労働となっている。 部活動の影響で家庭生活を犠牲にしている教員が多い。 専門外の部活動を担当することが多く、生徒に対する指導の質が低下している。</li> <li>● 地域移行に伴う課題 地域移行の計画が漠然としており、現場での実行可能性が見えにくい。 指導者の謝礼や楽器修繕費、備品管理などの資金が不足しており、財政面での裏付けが弱い。 指導者の質や適性をどのように見極めるか、また指導者不足の解決策が提示されていない。 地域移行後のトラブル発生時における責任の所在が曖昧。 音楽室や楽器庫などの学校施設の利用に関する管理が不透明。 特に音楽室の準備室には評価書類など重要な資料が含まれ、不審者対応やセキュリティも不安要素となっている。 部活動の移行が文化活動の衰退につながる懸念がある。</li> <li>● 教員と生徒の関係性 地域移行により、生徒と直接関わる機会が減少し、教師と生徒の信頼関係が希薄化する可能性や、部活動を通じた生徒指導や教師の存在感が低下する懸念。</li> <li>● 地域移行の現場課題 活動場所の確保や指導者の基準設定が整っていない。 地域ごとの条件の違いにより、移行の進捗や受け皿の整備状況に格差が生じている。</li> </ul>
----	---

	外部指導者と学校教員、保護者の間で連携が不十分。
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教員の負担軽減 専門的な指導者を確保し、教員の負担を軽減してほしい。 施設管理業務の簡略化やIT活用により業務を削減してほしい。</li> <li>● 地域移行の推進 移行プロセスの具体化と現実的な実行計画を作成してほしい。 財源の確保と透明性のある運用体制を構築してほしい。 指導者の質を確保するための基準を明確化し、選定プロセスを整備してほしい。</li> <li>● 教員の役割尊重 部活動を希望する教員が関与を継続できる選択肢を提供し、負担軽減と同時に、部活動に意欲的に関わりたい教員のモチベーションを維持する仕組みを構築してほしい。</li> <li>● 施設管理とセキュリティ 施設（音楽室や楽器庫など）の利用ルールを明確化し、適切な管理体制を構築してほしい。 不審者対応や戸締りの責任分担を整備してほしい。</li> <li>● 文化活動の支援 部活動を通じた生徒の向上心や技術向上の場を確保してほしい。 楽器修繕費や消耗品費の負担軽減に関する補助を行ってほしい。</li> <li>● 地域移行の円滑化 外部指導者、教員、保護者間の連携を強化する仕組みを構築してほしい。 他地域での成功事例やモデルケースの情報共有をしてほしい。</li> </ul>

### 2.2.2. 地域団体構成員（若狭小学校区まちづくり協議会、若狭地域連携会議）

調査結果では、部活動の地域移行の実施について当初61.6%しか把握していない状況だったが、部活動の地域移行を応援したいと答えた構成員が100%（Q3）、地域にとってもメリットがあると答えた構成員が84.6%（Q6）と好意的に捉えている結果が見られた。その一方、地域移行の実施に向けて心配な面があると答えた構成員は69.3%（Q8）と高い結果となった。

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 責任とトラブル対応 事故やトラブルが発生した場合の責任の所在が不明確。 未成年者との関わりによるトラブルや性的被害への対応策が不十分。 トラブル時の対処法やストレスケア、マネジメントに関する研修の実施とマニュアルの作成が必要。</li> </ul>
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指導者の確保と育成 地域で適正な指導者の質・量を確保することが難しい。 子どもたちへの適切な対応（発達や声かけ、不登校対応）に関する知識が不足している。 指導者がどこまで責任を負うべきか、明確なガイドラインがない。 ハラスメント予防の仕組みが整備されていない。</li> <li>● 保護者・地域の負担 地域移行後、保護者の送迎負担や費用負担が増える可能性がある。 保護者・地域・子どもへの周知不足や、地域運営の実効性に課題がある。</li> <li>● 子どもへの影響 発達課題や不登校の子どもなど、配慮が必要な子どもへの対応が不安視される。 子ども中心の運営ができるか、活動の質が維持されるか不透明。</li> <li>● 地域移行における実務課題 地域での活動場所の確保や管理が困難。 地域の指導者に対する適切な研修機会が不足している。 地域によって専門性のある指導者がいるかどうかが大きく異なる。 地域と学校、指導者の連携体制が整っていない。</li> </ul>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全管理とトラブル対応 事故や事件が発生した場合の責任所在を明確化してほしい。 トラブルや緊急時の対応マニュアルを作成し、周知徹底してほしい。 ストレスケア、マネジメント、ハラスメント防止に関する研修を強化してほしい。</li> <li>● 指導者の確保と育成 指導者が子どもへの対応や発達について学べる研修機会を提供してほしい。 指導者の適性を見極め配置できる仕組みを構築してほしい。 指導者への謝金の財源を明確化し、安定した報酬制度を確立してほしい。</li> <li>● 保護者・地域の支援 送迎や費用負担を減らすための制度を設計してほしい。 地域移行の目的や運営方法について、保護者や地域への周知活動を強化してほしい。 地域人材の発掘と有効活用の仕組みを整備してほしい。</li> <li>● 子ども中心の運営</li> </ul>

	<p>部活動の種類や選択肢を増やし、子どもの多様なニーズに応えてほしい。</p> <p>発達課題や不登校の子どもにも対応できる体制を整備してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域移行の基盤強化</li> </ul> <p>地域での活動場所の確保や管理方法を確立してほしい。</p> <p>地域と学校、指導者間の連携を深める仕組みづくりをしてほしい。</p> <p>部活動を通じた地域活性化や愛着形成を促進してほしい。</p> <p>他地域の成功事例を参考にした具体的な取り組みを展開してほしい。</p>
--	--

### 3. まとめ

本調査は、沖縄県・那覇市における中学校の吹奏楽部を中心とした音楽系部活動の地域移行に関して、学校（顧問、学校長、音楽専科教員）、地域それぞれの立場において感じているニーズや課題を明確にし、次年度のより本格的な調査への論点整理に役立てることを目的に計50人へのヒアリング調査、アンケート調査を実施した。

回答者の多くは、一定の不安や課題を感じているものの、教員の負担軽減や指導の高度化など部活動の地域移行に対する意義やメリットを感じ取っており、部活動の地域移行を好意的に捉えていた。課題やニーズに対しても、類似するものが多く、ヒト・モノ・カネの観点で整理すると以下のものが挙げられた。

下記の整理には、吹奏楽部を中心とした音楽系部活動が特に抱える困難として、楽器の保管や整備、移動に関するものが含まれており、他の部活動に対して、よりコストが高く、部活動の地域移行に関して困難度の高いことが確認された。

ヒト	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適切な指導人材の確保・育成の仕組みづくり</li> <li>● 子どもへの影響を最小限にし、発達課題や不登校の子どもなど多様な子どもへの対応体制も整備すること</li> <li>● 保護者や地域住民への負担軽減（送迎や費用負担）</li> <li>● 地域移行の目的や運営方法に関する周知活動の強化</li> <li>● 地域人材や保護者と学校間の連携強化</li> </ul>
モノ	<p>施設・設備に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動場所の確保と管理方法を整備し、施設利用ルールの明確化すること</li> <li>● 楽器や備品の移動・保管に対応する環境の整備</li> <li>● 不審者対応や戸締り責任分担の整備</li> <li>● ITや自動化による施設管理業務の効率化</li> </ul>

	<p>マニュアル・ガイドラインに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トラブルや緊急時対応マニュアルの作成と周知</li> <li>● 部活動運営に関する運営ルール・ガイドラインの整備</li> <li>● 成功事例やモデルケースの共有</li> </ul>
カネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指導者への安定した報酬制度の確立</li> <li>● 楽器修繕及び購入費や消耗品費用への補助</li> <li>● 保護者負担の軽減と部活動運営資金の確保</li> <li>● 企業スポンサーやクラウドファンディングの活用</li> <li>● 透明性のある運用体制の構築</li> </ul>

部活動の地域移行に向けて、行政のリーダーシップの発揮、行政との連携は必須である。本事業では、本調査の結果の共有とともに、令和7年度の調査に向けてより行政と連携を図り、本事業のゴールである「より良い部活動の地域移行に向けた今後のモデルケースへの模索」に向けて、引き続き取り組みたい。

## 4. 付録

### 4. 1. アンケート用紙

#### 4. 1. 1. 那覇市内の吹奏楽部顧問へのアンケート内容

## 部活動顧問へのアンケート

本アンケートは、

那覇市のなはSDGs推進事業 「那覇市における部活動の地域移行に関する調査及びモデルケースへの模索」として、一般社団法人 琉球フィルハーモニック・一般社団法人 Supporters' Supporterが実施するものです。

本調査を通じて、子どもや先生、地域にとって、より良い部活動の実現に向けて、先生方の声を行政に届けたいと考えております。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

\* 必須の質問です

1. Q1.現在、スポーツ庁・文化庁では、休日(土日、祝日)の部活動の地域移行に \*  
ついて、令和7年度末までを「改革推進期間」として位置づけ、早期の実現を  
求めています。そのことについて知っていましたか

1つだけマークしてください。

- よく知っていた  
 やや知っていた  
 あまり知らない  
 全く知らない

2. Q2.生徒が取り組む部活動にどのようなことを期待していますか \*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 仲の良い友達と一緒に活動できること  
 新しい友達(先輩・後輩など)をつくれること  
 技術や体力の向上ができること  
 大会・コンクールで良い成績を収められること  
 リーダーシップを学べること  
 目標に向かって、やり抜く力が身に付くこと  
 礼儀やマナーが身につくこと  
 練習を楽しめること  
 勉強との両立ができること  
 放課後を健全に過ごせること  
 高校の進学に有利だと思うこと

3. Q3.あなたは、部活動の地域移行が行われることについて、応援したいですか \*

1つだけマークしてください。

- とてもしたい
- ややしたい
- あまりしたくない
- 全くしたくない

4. Q4.上記（Q3）でそのようにお答えした理由をお聞かせください \*

---

---

---

---

---

5. Q5.部活動の地域移行が行われることについて、部活動顧問や学校にとって、\*  
メリットが有ると考えられますか

1つだけマークしてください。

- とてもある
- ややある
- あまりない
- 全くない
- その他: \_\_\_\_\_

6. Q6.上記（Q5）でそのようにお答えした理由をお聞かせください。 \*

---

---

---

---

---

7. Q7.部活動の地域移行が行われることについて、生徒にとって、メリットがあると考えられますか \*

1つだけマークしてください。

- とてもある
- ややある
- あまりない
- 全くない
- その他: \_\_\_\_\_

8. Q8.上記（Q7）でそのようにお答えした理由をお聞かせください \*

---

---

---

---

---

9. Q9. 部活動の地域移行が行われることについて、心配な点はありますか \*

1つだけマークしてください。

- とてもある
- ややある
- あまりない
- 全くない
- その他: \_\_\_\_\_

10. Q10.上記（Q9）でそのようにお答えした理由をお聞かせください\*

---

---

---

---

11. Q12. 部活動の地域移行はスムーズに行われると思いますか。\*

1つだけマークしてください。

- とても思う
- やや思う
- あまり思わない
- 全く思わない

12. Q13.上記（Q12）でそのようにお答えした理由をお聞かせください\*

---

---

---

---

13. Q14. 音楽系の部活動についての地域移行に話題を限定した場合、あなたが\*  
感じているメリットを教えてください。

---

---

---

---

14. Q15. 音楽系の部活動についての地域移行に話題を限定した場合、あなたが \*  
感じているデメリットや心配な点を教えてください。

---

---

---

---

---

15. Q16. 部活動の地域移行が行われることに対して、あなたが感じていること \*  
を教えてください。

---

---

---

---

---

---

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

#### 4.1.2. 地域団体構成員（若狭小学校区まちづくり協議会、若狭地域連携会議）へのアンケート

## 地域団体アンケート

\* 必須の質問です

1. Q1.現在、スポーツ庁・文化庁では、休日(土日、祝日)の部活動の地域移行に \*  
ついて、令和7年度末までを「改革推進期間」として位置づけ、早期の実現を  
求めています。そのことについて知っていましたか

1つだけマークしてください。

- よく知っていた  
 やや知っていた  
 あまり知らない  
 全く知らない

2. Q2.子ども（地域の子どもを含む）が取り組む部活動にどのようなことを期待 \*  
していますか

当てはまるものをすべて選択してください。

- 仲の良い友達と一緒に活動できること  
 新しい友達(先輩・後輩など)をつくれること  
 技術や体力の向上ができること  
 大会・コンクールで良い成績を収められること  
 リーダーシップを学べること  
 目標に向かって、やり抜く力が身に付くこと  
 礼儀やマナーが身につくこと  
 練習を楽しめること  
 勉強との両立ができること  
 放課後を健全に過ごせること  
 高校の進学に有利だと思ふこと

3. Q3.あなたは、部活動の地域移行が行われることについて、応援したいですか\*

1つだけマークしてください。

- とてもしたい
- ややしたい
- あまりしたくない
- 全くしたくない

4. Q4.上記（Q3）でそのようにお答えした理由をお聞かせください

---

---

---

---

---

5. Q5.部活動の地域移行が行われた場合、地域では、どのような応援の仕方が考えられますか

当てはまるものをすべて選択してください。

- 教員の負担軽減
- 専門的に指導できる人材の提供
- 活動費用の金銭的支援
- 練習場所の提供
- 練習や試合への送迎
- 大会などの運営協力
- 休日の活動のお弁当の用意
- ユニフォームや練習着の洗濯
- 合宿や遠征などへの帯同
- その他: \_\_\_\_\_

6. Q6.部活動の地域移行が行われることについて、地域にとって、メリットが有 \*  
ると考えられますか

1つだけマークしてください。

- とてもある
- ややある
- あまりない
- 全くない
- その他: \_\_\_\_\_

7. Q7.上記（Q6）でそのようにお答えした理由をお聞かせください

---

---

---

---

---

8. Q8. 部活動の地域移行が行われることについて、地域にとって、心配な点は \*  
ありますか

1つだけマークしてください。

- とてもある
- ややある
- あまりない
- 全くない
- その他: \_\_\_\_\_

9. Q9.上記 (Q8) でそのようにお答えした理由をお聞かせください

---

---

---

---

---

---

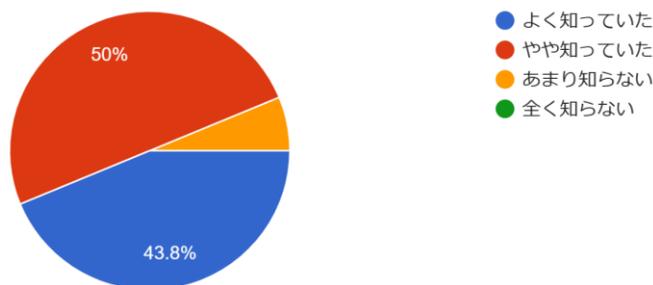
このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

## 4.2. アンケートの結果

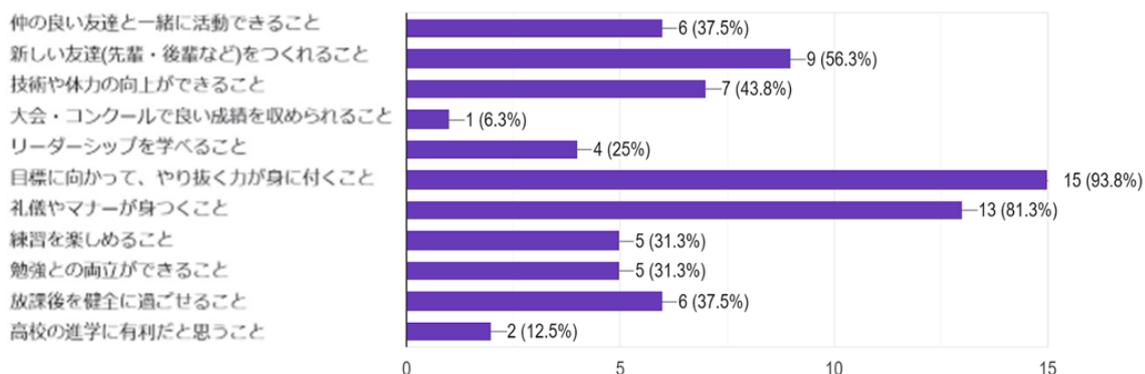
### 4.2.1. 那覇市内の吹奏楽部顧問へのアンケート結果

Q1.現在、スポーツ庁・文化庁では、休日(土日、...求めています。そのことについて知っていましたか  
16件の回答



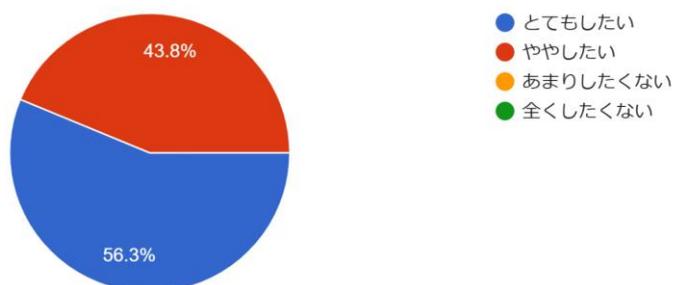
Q2.生徒が取り組む部活動にどのようなことを期待していますか

16件の回答



Q3.あなたは、部活動の地域移行が行われることについて、応援したいですか

16件の回答



Q4.上記(Q3)でそのようにお答えした理由をお聞かせください

- 教員の土日休みの確保
- 人材や施設借用のハード面、また外部指導者の資質のマンパワー的な部分がはっきり基準なり方針なりが示されていない。

- 職員の負担軽減
- 子どもを地域で育てることは良いことだと思うから。学校が担いすぎている部分が多いので早期に切り離せるものが部活動なのかなと感じている。
- 地域との関わりが希薄化する中で、部活動を通して関わりが深くなると思うから。また、教職員の働き方改革の一環となれると思うから。
- 学校業務をこなしながらの指導は負担が大きい。地域で専門的にご指導してくれる方がいたら、技術向上の観点からも子どもたちにとっていいことだと思う。
- 現在教員の抱える仕事は多く、近年報道でもある通り多忙感が拭えません。そうした業務改善の視点からも地域移行は有効であると考えます。
- 一方で、自身を含め部活動で育ててもらったという思いなどから、自ら積極的に部活動へ関わっていきたいと考える教員も少なくないと思います。
- 地域移行の動きは歓迎しつつも、後者のような教員が部活動に関わり続ける道も残してほしいという思いです。
- 教員の業務の負担が大きいこと。
- 生徒たちの健全な文化活動が滞らないようにとの思いと先生方の負担を軽減できるならという思いから。
- 働き方改革として理解する反面、教師による生徒理解・生徒指導力向上・生徒の頑張る姿を見る機会として、部活動指導が担っている役割があると感じている。各個人としての教師の在り方や、社会で期待される教師像が上手く噛み合うことを願う。
- 沖縄の音楽教員は部活動を持つのが当たり前になっています。育休明けに部活動の調整のお願いをしましたが、音楽の先生以外は吹奏楽部が持てないとのことで、受け入れてもらえませんでした。また、子育て中にも関わらず音楽の先生、体育の先生のみ部活動が当たり前割り当てられます。この現状を変えない限り、音楽で希望する教員はどんどん減ると思います。
- 自分自身も部活をしたいから。
- わからない部活をもっても、教員も生徒も報われなと思うし、平日は部活指導までの気力は残っていないため。
- 業務としてはかなり助かるが、自分でも指導に関わりたい
- 現場は限界です。
- 可能であれば地域移行してもらいたいが、現実的に考えて難しいと思うから。

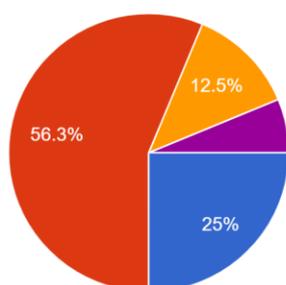
Q5.部活動の地域移行が行われることについて、...や学校にとって、メリットが有ると考えられますか  
16件の回答



Q6. 上記 (Q5) でそのようにお答えした理由をお聞かせください。

- 普段の業務に集中できる
- 教員の負担軽減
- 負担軽減が図られるから
- 先生方の多忙さは部活動ではないと考えるため。
- 顧問の負担軽減につながる
- 放課後に教材研究等の学校業務に集中できる。
- 教員の業務軽減につながると思います。
- 教員の負担が減る
- (Q5) その他で答えた通りです。
- 放課後の学校の様子が変わるので、生徒管理や不審者対応、複数校の生徒の交流によるトラブルなどについて、対処の仕方は考える必要がある。
- 部活動の負担が大きく、家庭や仕事に影響を与えていると思います。また、部を経営することは連盟に加入することになり、部以外にも連盟の仕事などみえない負担があります。
- 地域移行することで、プロフェッショナルな指導を受けることができ、教員の事務作業をする時間を作れることはメリットになると思うが、生徒指導や戸締りなどでデメリットが大きいと考えます。
- 
- 地域移行といっても、指導者が校内で活動すると、終わるまで帰れず、急に予定が入り帰りたくても終わるまで待たないといけないので、苦痛になるかと…。教室だけでなく校舎の戸締りも気になります。
- 自分自身で部活をもっていたら、急な出張などで、子供達と相談して、活動日や時間を臨機応変に変更することができる。
- また、生徒指導で子供達とラポートが取れていない指導者だと、結局は教員に負担がかかると思っています。
- 現に、他の部活動で指導者と子供達が上手くいかず、顧問が間に挟まれるだけでなく、顧問に保護者はクレームを言って来ているのを何度もみました。
- 専門に教わることで、生徒も上手くなるし教員も余裕が生まれると思う。
- メリットもあるがデメリットもあるかと…。
- より専門的に学べ、職員の負担軽減になる。部活は希望する人のみで良い。大会運営も職員がやるのは大変です。
- 放課後や土日の部活動はやはり負担が大きく、地域移行したらその負担は軽減されると思う。しかし、部活動を通して教師と生徒の信頼関係が生まれる部分もあるため、全てを地域移行するのは違うと思うから。

Q7.部活動の地域移行が行われることについて、生徒にとって、メリットが有ると考えられますか  
16件の回答



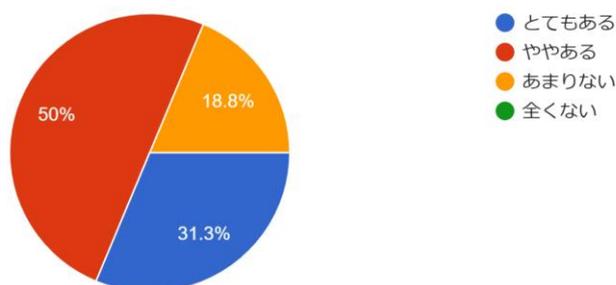
- とてもある
- ややある
- あまりない
- 全くない
- 指導が出来ない先生に代わって専門家が指導してもらえる事はメリットだと思う。しかし日頃の学校での生徒の様子を知らないで方が対応するため二面生が出ないか危惧します。

Q8. 上記（Q7）でそのようにお答えした理由をお聞かせください

- コーチがついている方が技術向上につながる
- 活動資金を現在の部費以上に払わされる。
- 学校うだと活動しやすい。
- 地域だと違う学校のメンバーとも一緒に活動できる。
- 習い事と同じ感覚になり、仲間意識や達成感などは感じられないと思う。
- 教職員は移動があるので、その顧問によって方針が異なるが、地域の方だと入れ替わりが頻繁にないので方針がブレずないので生徒も安心して活動できると思う。
- 同じ志を持った中学生同士で活動することにより技術向上や幅広い友人関係により視野が広がると思われる。
- 地域移行によって、より専門性のある指導者による指導は子供たちのメリットだと思います。
- 外部の大人と関われる
- Q7で答えた通り
- 現状での学校ではできない種類の部活動ができるかもしれない。
- 部活動が移行することにより、学級経営や生徒に関わりにゆとりがでると思います。
- プロフェッショナルな指導を受けることができる。
- 教員以外と関わることで、様々な考え方を知れると思うし緊張感をもって部活に取り組めると思う。
- 上記に同じ
- より専門的に学べる
- いろんな人が関わることで学ぶことも多いと思うから。

Q9. 部活動の地域移行が行われることについて、心配な点はありますか

16件の回答



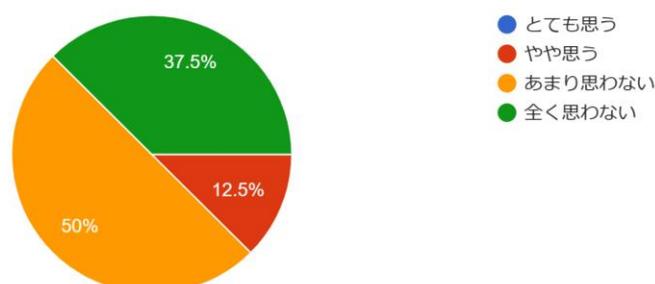
Q10. 上記（Q9）でそのようにお答えした理由をお聞かせください

- あまりありません
- Q4と同じ
- きちんとした指導者をきめ、それなりの報酬が支払われるかが不安
- 指導者に相応しい方とそうでない方の精選は難しい。
- 万が一事故が起きた際の責任の所在。
- 活動場所や活動時間、金銭面などで、やりたいけどできないという子も多くなるのでは…
- 部活動を通じて生徒とのラポートが取れていた面が切り離されてしまう。

- 学校施設の利用、指導料
- 受け皿がちゃんと用意されるのか？
- 文化活動が衰退しないかが心配。
- おおよそ上述のとおり。業務が変わることによる教師の変化、複数校の生徒交流による良し悪しへの対応、人材と予算の確保。
- 大きな改革なので、はじめは色々な課題がでるかと思いますが、必要な改革だと思います
- 学校での戸締り。セキュリティー
- 指導者と子供や保護者間でのトラブルが起こった時、間に挟まれる。
- 部活動で生徒指導をしなければならなくなった時、詳細が分かりにくい。その際、聞き取りなどどのようにするのか、レポートが取れるか。
- 部活でのトラブルが出た場合、どこまでを学校が介入するのかや場所の提供の仕方。
- どこまで教師と連携とれるかによっても変わると思う
- 保護者の負担が増える
- まだ具体的なことがほとんど整っていないから。(例えば、活動場所の管理や指導者の確保など)

Q12. 部活動の地域移行はスムーズに行われると思いますか。

16件の回答



Q13. 上記 (Q12) でそのようにお答えした理由をお聞かせください

- 顧問の負担が大きい
- Q4と同じ
- 条件がまだ、整っていないから。
- 人材確保は難しい
- 何も変わらないから。
- 特に吹奏楽部は楽器の関係もあり、受皿が整っていないと思う、
- 管理職がリーダーシップを発揮して、積極的に進めているから
- 外部指導者がいない。
- あまりにも、行政が本気とは思えない。
- 予算をしっかりとつけないからそう思います。
- 全体は一括で動かすべきだが、各地域がすんなり条件を満たせるとは限らない
- 色々な事例が増えると良い
- 生徒指導面、戸締りなどのセキュリティーに心配がなければ、スムーズに行けるとは思います。自分で持って生徒指導も一緒に行った方が良いと思う先

生方もいらっしゃると思いますが。

- また、指導者がいないのでは…
- 顧問とも連携を取れる方がいらっしゃるかどうか…
- 何年も前から言われているのになかなか進まないから。
- 難しい部分があると思うから
- 成功例がまだなく、難しい
- 前質問と同じ答えです。

Q14. 音楽系の部活動についての地域移行に話題を限定した場合、あなたが感じているメリットを教えてください。

- 業務に集中できる
- 特に吹奏楽未経験教師が負担にならない。
- 地域や複数校の人数での活動により保護者の意識が変わってくると思う。
- 専門的な技術が学べる点
- 専門の方の指導が受けられるので、生徒にとっても教員にとっても勉強になると思う。
- 専門の方のご指導により、子どもたちの音楽的な力を伸ばしてもらえと思う。
- 部活動顧問の私的な時間の確保、専門性のある指導員による指導の充実
- 音楽科の負担が減る
- 負担に感じてきちんと指導しない方より専門家が指導すること。
- 音楽科がもつしかないと思われ勝ちな部活動なので、働き方が変わる
- 体育系の移行は進んでいるが、音楽は余り聴かないので、広く広めたほうが良いと思います。
- プロフェッショナルな指導をしてくれる。
- 演奏技術の上達。
- 教員の業務軽減
- 専門的に学べる
- 専門の方が指導してくれるのなら、技術的に向上できること。

Q15. 音楽系の部活動についての地域移行に話題を限定した場合、あなたが感じているデメリットや心配な点を教えてください。

- あまりない
- 吹奏楽では音楽室、楽器などの施設や備品の使用が出来るか、又管理等も含めてどう具体的に進めて行くのが全くわからない。また、指導者を原則ボランティアに頼るなど、資金面の裏付けが無いままでは、責任の所在が曖昧。
- 指導者の問題
- 指導者による暴言、指導者への謝礼など。知的財産の無料化は良くないと考える。
- 楽器の修理代等はこれまで通りに市町村で行ってもらえるのか？楽器の備品管理は誰が行うのか？
- 楽器を個人で購入するのはかなり負担が大きく、学校のものを使用するとなると、管理などはどうなるのが不安に思う。
- 楽器修繕費や消耗品費の管理
- 教室、楽器庫使用時の音楽科教諭との連携

- 学校行事と別活動になる
- やる気のある先生が、働き方改革の名の下に指導出来なくなること。
- 学校での教育方針を知らずに外部指導者の考えで生徒たちを指導した場合に生徒たちが混乱しなければ良いが…。
- 学校の音楽室を使うかどうかでいろいろ勝手が変わる
- 練習場所の確保
- 戸締り。セキュリティ。
- 急な出張や帰らなければならない時、体調が悪くなり帰りたい時、直ぐに学校から出られるかどうか。人に任せなければ、子供達と相談して部活を休みにもすることも直ぐにできるし、日にちや時間を直ぐ変更することができる。
- 指導者と連絡をとるわずらしさがある。
- 活動場所の提供と楽器の管理
- 連携
- デメリットはありません。
- 学校の音楽室を使うことになると思うが、音楽室は多くの学校で校舎内を通らなければいけない。また、音楽室を使用するためには音楽準備室を開ける必要がある学校が多く、その準備室には生徒の評価に関する書類や授業に必要なものが多く置かれている。外部の人がそこを出入りすることにかなり抵抗がある。
- それと、指導者はどのように確保するのか。各自で探すことは困難。

Q16. 部活動の地域移行が行われることに対して、あなたが感じていることを教えてください。

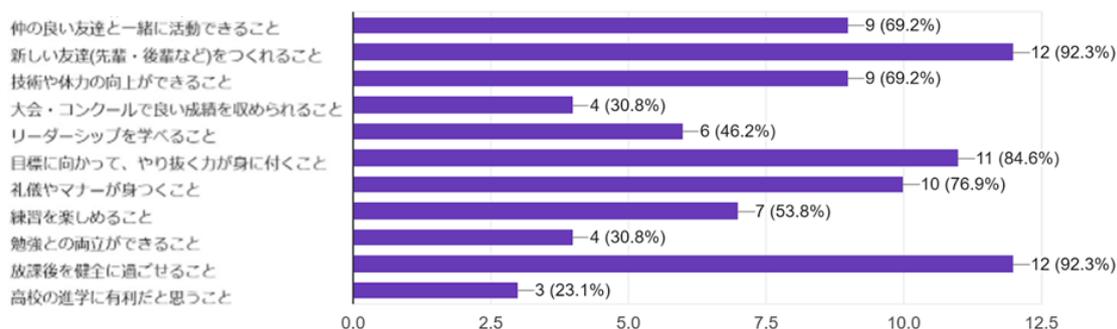
- 部活の地域移行は早く進んで欲しい
- 人の善意ばかりに当てにせず、しっかりと予算をつけ、具体的な提案をして欲しい。
- 早めに整備して行って欲しい
- 指導したい人と指導に向いている人は別物。保護者対応も含め、相応しい人をどのようにして見極めるのか難しい課題だと思う。
- 部活を地域移行することで、子育てと仕事の両立ができるかなと思います。正直、普段の業務もこなすのが精一杯なので、部活までは手がまわらないのが現状です。子どもたちにも申し訳ないので、指導力のある先生にみてもらえたら、子どもたちもより音楽を楽しめると思います。しかし、その反面、部活動を通して生徒理解できた部分もあるので地域移行した場合、生徒理解が不十分になってしまう気がして、不安があるのも事実です。
- 子どもたちにとって諦め感がでないこと、向上心を持って取り組める活動、技術向上が目指せる場となるような団体が多く存在してくれることを願います。
- 部活動に負担を感じている教員がいる一方で、負担はあるがそこにやりがいを感じている教員もまた一定数いると思われます。
- 負担軽減を目指すと同時に、積極的に関わりたい教員への道を残すことを考慮していただけたら幸いです。
- 土日に休みがほしい
- これまで述べた通り。
- 人材確保とサービス管理と安全管理が心配だと思っています。
- 部活動の負担がかなり大きいので、進めて欲しい。現状としては、家庭がか

なり犠牲になっています。

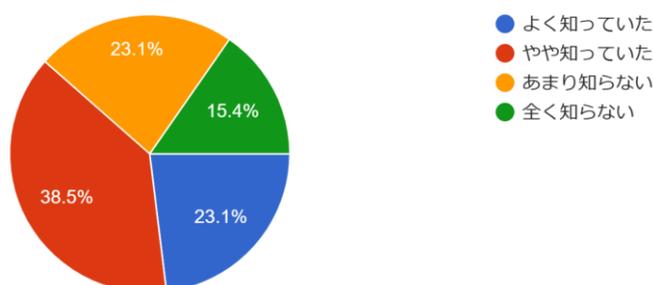
- 部活動を地域移行にしたい顧問の先生は地域移行として、その先生がいらっしやる時まで契約をし、顧問自ら部活動を持ちたい先生は、地域移行をせずに部活動をみれる形をとってもらいたい。
- それができないなら、年契約でできたらいいなど。
- または、全体を見るのではなく、各楽器のみの指導者を派遣という形をとってもらえたらと思います。
- 私個人、部活動を持ちたいと思っています。
- 子供達と一緒に音楽をするのが大変楽しく、部活動指導を続けたいです。
- 地域移行を進めることで、教員は授業準備や事務作業に時間を割くことができます。生徒もプロに習うことでより深く学べると思います。
- 沖縄で進めることで、全国に広がっていければいいと思います。よろしくお願ひします。
- 子供達にとって1番いい形になるまで時間がかかると思う。
- 大賛成です。
- 地域移行を実現するためには、もっと具体的に計画を立てて進めていかなければならないと思う。あまりにも漠然とし過ぎて、現実的ではないと思う。

#### 4.2.2. 地域団体構成員（若狭小学校区まちづくり協議会、若狭地域連携会議）へのアンケート結果

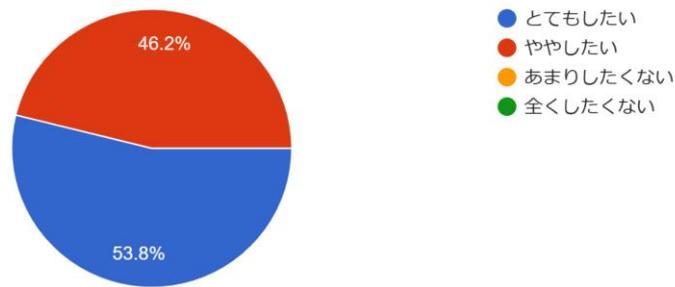
Q2.子ども（地域の子どもを含む）が取り組む部活動にどのようなことを期待していますか  
13件の回答



Q1.現在、スポーツ庁・文化庁では、休日(土日、...求めています。そのことについて知っていましたか  
13件の回答



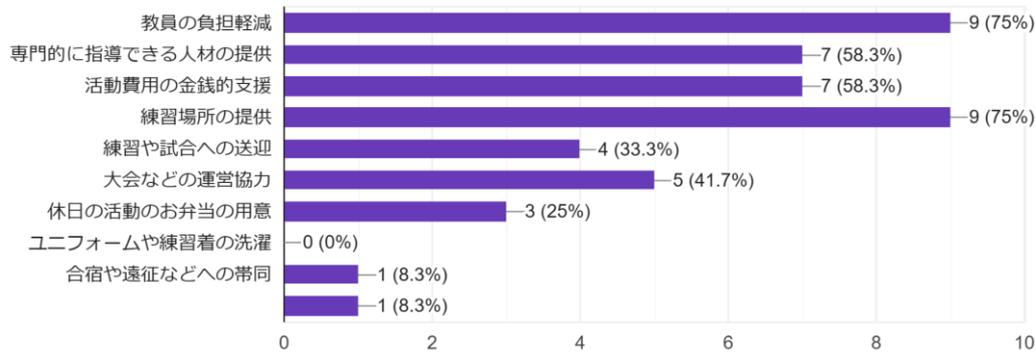
Q3.あなたは、部活動の地域移行が行われることについて、応援したいですか  
13件の回答



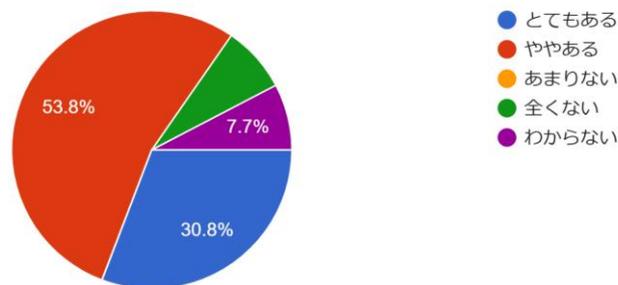
Q4. 上記 (Q3) でそのようにお答えした理由をお聞かせください

- 地域の活性化につながる(何が出来るかは不明だが)
- 指導者に子どもたちとかかわるための知識をどのように育成していくか?
- 不登校や発達に課題がある子どもたちへの対応について不安がある。
- 
- (琉球フィルハーモニックでは研修等行われているので安心ですが、
- 他の団体が入る場合
- これはどの部活のも当てはまるので、何かしらの取り組みが必要と考えています。)
- 教員の勤務時間が長いと聞いたので教員の負担軽減につながると思ったので
- やりたい部活がなくても地域移行することで子供の選択肢が増えると思ったので
- 教職員の負担軽減に繋がるかと思います
- 親と学校以外の大人との出会いが、子どもの成長・キャリア形成に必要と思うので。
- また、地域といっても適正な指導者であったり、ハラスメント予防の仕組みづくりも必要と思います。
- 県の美さん運動「あかいリング」との連携が参考になります。
- 地域活性化に繋がり関係性の親睦も深まりつながると思います。
- 教員の善意や自助努力に頼るのは限界だと思うため
- 応援することで自身も地域活動に関わっていける
- 地域連携で部活動を応援したい
- 地域の協力が必要です
- 専門的なことが身につくそう
- 教職員の働き方改革、地域への愛着、所属感

Q5.部活動の地域移行が行われた場合、地域では、どのような応援の仕方が考えられますか  
12件の回答



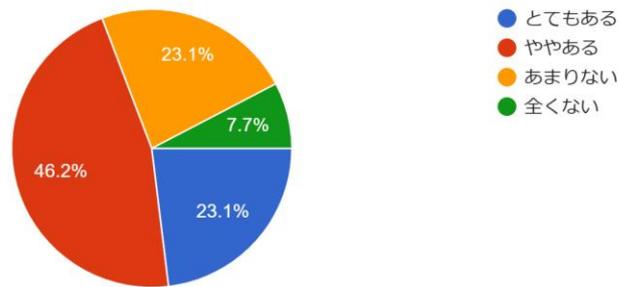
Q6.部活動の地域移行が行われることについて、地域にとって、メリットが有ると考えられますか  
13件の回答



Q7. 上記（Q6）でそのようにお答えした理由をお聞かせください

- 自宅にこもりがちから外にでて友達を作れる
- 地域の人との交流につながる
- こども達にとって部活動の選択肢が増えること
- こども達がさまざまな地域の方と接する機会が増えること
- 関わり方によるので、よくわかりません
- 地縁団体の現象や地域活動の低下の代替案、コミュニティスクールの促進にもなりうるから
- 地域の親睦が深まると思います。
- メリットがわからない
- 他地域の子と交流を深められそれをとおして保護者どおしの交流も深まる
- 学生と地域の交流が広がる
- 子どもと地域の繋がりが出来る
- 専門性のある方がいる地域ということで地域を認知してもらえたり、活性化にも繋がると思う。
- 地域とのつながりがうまれる
- 地域への愛着を持つことにつながる

Q8. 部活動の地域移行が行われることについて、地域にとって、心配な点はありますか  
13件の回答



Q9. 上記（Q8）でそのようにお答えした理由をお聞かせください

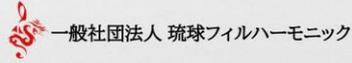
- 事故などが発生した場合の責任のありようが不明
- Q4と同じ理由
- どのように地域での活動とがこうを連携していくのか
- 指導者・地域の方が子どものこと(対応・声かけ・発達など)について学ぶ機会をどのように作っていくのか
- 部活を地域移行した際送迎はどうするのか
- 指導者の確保が出来るのかどうか気になります
- 未成年者との関わりによるトラブル、性的被害
- 指導者にどこまで責任を負ってもらうのか。謝金の財源。
- 活動中、トラブルや怪我が発生した時、どう対処するか
- 事故や事件や保険など。また、対応マニュアルやストレスケア、ストレスマネジメントなど研修も強化してほしい。
- 保護者の負担をどう下げられるか(費用 時間)
- 地域人材のほり出し・活用
- 保護者・地域・子どもへしっかりと周知はどうするか
- 地域で運営していく中で活動する子ども中心の運営ができるのだろうか

#### 4.3. ヒアリング資料

##### 4.3.1. 本事業資料

なはSDGs推進事業

那覇市における部活動の地域移行に関する  
調査及びモデルケースへの模索



音楽と共に  
まちと響きあう

琉球フィルハーモニックは人々の生活の中で**音楽が果たす役割を追究し**、音楽を安心して鑑賞できる環境づくりを行っています。

音楽による子どもたちの育成、子どもの居場所づくり等の活動をおとして、**潤いのあるまちづくり**に貢献してまいります。



那覇ジュニアオーケストラ

子どもたちの育成

音楽療法  
個別療育支援



児童デイセンター「こどもの城ミュウ」



琉球フィルハーモニックオーケストラ

プロの  
演奏活動



ジュニアジャズオーケストラおきなわ

子どもの  
居場所づくり



琉球フィルハーモニックジャズプレイヤーズ

## 琉球フィルによるサステナビリティ活動 「音楽と共にまちと響きあう」

琉球フィルハーモニックでは「音楽と共にまちと響きあう」を理念に行政・地域住民・事業者等との意見交換や連携によりSDGsを意識した取り組みを積極的に行い地域社会とともに持続発展する未来づくりに貢献します。



琉球フィルハーモニックは  
2020年11月26日に  
「沖縄県SDGs普及パートナー」  
として登録されました。

### なはSDGs推進事業

#### 那覇市における部活動の地域移行に関する 調査及びモデルケースへの模索

4 質の高い教育を  
みんなに

11 住み続けられる  
まちづくりを

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう

## 事業の動機(背景)①

吹奏楽部を指導している多くの先生方の  
様々な状況を見聞してきた

### 上原 正弘

一般社団法人 琉球フィルハーモニック 代表理事/ホルン奏者

那覇市出身。

1985年20歳で(公財)仙台フィルハーモニー管弦楽団に入団、1997年までホルン奏者を務める。1997年帰沖。

1997年～2002年東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団首席ホルン奏者を務める。

これまでに常盤木学園音楽科・沖縄県立開邦高等学校音楽科・沖縄県立芸術大学音楽学部・琉球大学教育学部 等の非常勤講師を務める傍ら、県内外の吹奏楽部 等の指導を行う。

現在、**那覇市教育委員会から部活指導員(吹奏楽部)として那覇中学校に派遣。**



## 事業の動機(背景)②

「音楽による子どもの居場所づくり」の活動をとおして  
地域や学校との連携の大切さを感じた



2016年から活動しているジュニアジャズオーケストラおきなわ

## 事業の動機(背景)③

どんな環境の子どもたちも  
体験する機会を保障する必要性を感じた



那覇・与那国・渡嘉敷を結んだりリモート合同コンサート



離島の子どもたちとのリモートレッスン

国の取り組み

文科省

平成31年3月に掲げられた  
「学校における働き方改革に関する取組の徹底」  
にて部活動の地域移行が提唱された。



スポーツ庁と文化庁



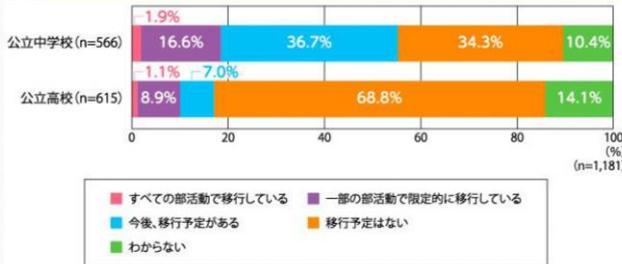
平成30年に策定した  
「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び  
「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」  
を統合した上で全面的に改定。  
令和4年12月より

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」  
の定めるところにより取組が進められている。



休日(土日、祝日)の部活動の地域移行について、  
令和7年度末までを「改革推進期間」として位置づけ、早期の実現を求めている。

令和5年6月に菅公(カンコー)学生服株式会社の実施した  
全国の公立中学・高校の教員を対象とした「部活動の地域移行」調査  
(調査対象:全国の公立中学・高校の教員 1,181人)

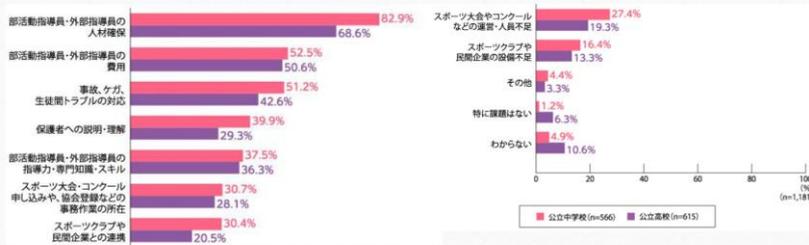


※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

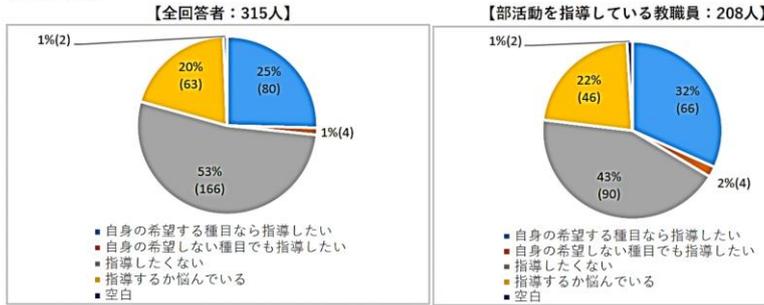


令和5年6月に菅公(カンコー)学生服株式会社の実施した  
全国の公立中学・高校の教員を対象とした「部活動の地域移行」調査  
(調査対象:全国の公立中学・高校の教員 1,181人)

「部活動の地域移行」の課題



問15 部活動の地域移行には様々な手法が考えられますが、地域移行後のご自身の関わりについてどのようにお考えですか



### 部活の地域移行について 教職員

分類	意見・要望	件数	
肯定的意見	教師の負担軽減につながる	8	
	保護者の負担増（金銭・送迎等）はやむを得ない（当たり前）	3	
	地域の協力が不可欠	1	
	メリットは大きい	1	
	質の高い指導が受けられる（文化活動を促める）	1	
	予算を組んで民間のスポーツクラブへ委託	1	
	課題	指導者の人材確保が困難	10
		学校施設（音楽室）の管理方法	3
		生徒指導面で影響が出る	3
		受け皿が確保できない	2
保護者の負担増（送迎、活動費等）により部活動に参加できない生徒が増える		2	
活動の質や安全面が不安		2	
講師以上主審の指導		2	
生徒との交流の場が少なくなる。信頼関係が築けない		2	
生徒にとって学校生活が楽しくなくなる		2	
地域移行に課題が多いので、部活動の負担軽減（週2日休みの徹底、専門部の定員をそろえる、大会運営）		1	
指導する教員が少ない部活動のみ地域移行が良い	1		
地域活動のノウハウに学校が蓄え込まれる	1		
提案・要望	早急な取り組みを望む	24	
	行政がしっかり取り組むべき（予算化、人材・受け皿確保、周知活動等）	8	
	休日だけではなく平日の地域移行を進めてほしい	4	
	問題点を整理し地域移行を進めてほしい（大会運営含む）	4	
	指導者への報酬費用	3	
	教員の希望者は地域で指導できるように	3	
	スポーツ少年団のような形態	2	
	部活動ではなく他の習い事や塾と同じ捉えでよい	2	
	教職員は問わず、保護者、地域、行政に任せるべき	2	
	地域移行しても指導を続けたい	2	
	子どもたちへの精神的なサポート、配慮が必要	1	
	無料の送迎バス	1	
	学校施設の行政管理	1	
	多様な目標設定できるようにしてほしい	1	
	運動に自信がなくても気軽に楽しめるようにしてほしい	1	
経済的に余裕がない家庭の子どもも参加できるようにしてほしい	1		
学校単位ではなく競技団体主導で指導者養成や受け皿等の環境整備を行ってほしい	1		
近隣校で合同のクラブチームを作る	1		
指導者講習会の実施	1		
部活動顧問と地域指導者との連携が必要	1		
民間のスポーツクラブへ委託	1		

### 部活の地域移行について 生徒

反対(今のままがいい)	33
地域移行に賛成	23
専門の指導者から指導を受けられる（受けたい）	14
いろいろな種目のスポーツ（文化活動）がしたい	11
いろいろな人が自由に参加できるようにしてほしい	8
先生（顧問）の負担が減る	7
近い場所で活動したい	6
地域移行について知らないので、説明してほしい	6
他の人とコミュニケーションがとれるか心配	3
費用負担が心配	3
同じレベル・同年代と活動したい	3
地域移行と部活動半分ずつがいい	3
楽しい活動がしたい	2
無理のない時間で活動したい	2

## 部活の地域移行について 保護者

那覇市教育委員会  
令和5年度 部活動の地域移行に向けたアンケート  
対象:那覇市立中学校(17校)教職員、生徒、保護者

地域移行について	教員の負担軽減になるので賛成	45
	適切な指導者(人格、専門性)の確保が必要	31
	経済的な問題や親の事情(送迎等)で参加できない子が増えないようにしてほしい	17
	子どもたちがやりたい種目を自由に選択し参加できるようにしてほしい	13
	送迎や費用面等、親の負担が増えるのは困る	12
	活動場所までの距離の問題、自分の学校で活動させたい	12
	地域と学校や顧問の先生との連携(指導方法、教育的指導面)は必要	11
	子どもたちがストレスなく楽しく学べて運動もできる活動が実現できたらいい	11
	地域移行は人間関係や生徒指導面(教育的配慮)で不安がある	8
	生徒の技術的向上が期待できる	8
	いろんな方々と関わって社会勉強ができたらいい	7
	保護者の費用負担は当然だと思う(指導の質や内容による)	7
	行政が予算を組み、指導者の確保や受け皿づくりを早急に進めるべき	6
	小学校のように、親やOB、地域の方に任せてよい	4
	設備の整った環境で活動させたい	4
	地域活動でも学校で成果を評価、激励してほしい	4
	土日だけではなく平日も地域移行したほうがいい	4
地域移行は必要ない(今まで良い)	3	

## 事業の趣旨・目的

子どもたちの体験保障や学校における教職員の負担軽減策として「部活動の地域移行」は有効な取り組みです。

その実現に向けて学校と地域の包括的な関係構築や、地域の人的資産の発掘や活用は必要不可欠だと考えます。

今回は那覇市教育委員会の調査結果を踏まえ、**吹奏楽部**やその関係機関等にヒアリングやアンケートを行い「部活動の地域移行」についてのニーズや課題をより具体的に調査し、若狭地域を対象に定め、今後のモデルケースへの模索を行います。



## なぜ吹奏楽部なのか

- ・運動系部活の地域移行は文化系部活より比較的進んでいる。
- ・文化系部活動の中で「吹奏楽部」は人数が多く、活動場所や楽器の確保・管理・メンテナンスや運搬など運営面が複雑。
- ・多岐にわたる指導員のスキルや、各楽器の専門指導員(講師)の必要性。
- ・コンクールや演奏会の他に、運動系部活の応援や学校、地域の行事 等に参加している。



他の部活動を地域移行する際にも有用な知見が得られやすく、範例になり得る



## 調査対象&スケジュール

生徒へのアンケート調査	:約50名(那覇市内中学校吹奏楽部)
顧問・学校長等へのヒアリング	:約5校(那覇市内中学校吹奏楽部顧問)
吹奏楽指導者へのヒアリング	:約5名(楽器の専門的指導者)
若狭地域の方へのアンケート	:2団体(若狭小学校区まちづくり協議会、若狭地域連携会議)
音楽関連団体	:3団体(沖縄県吹奏楽連盟、日本マーチングバンド協会沖縄支部、 沖縄県音楽研究会)

※到達目標

9月 関係者へのヒアリング &アンケート内容の設計	10月 対象者へのヒアリング &アンケート調査	12月 調査結果まとめ作業	1月
---------------------------------	-------------------------------	------------------	----

## 連携先・ネットワーク等

那覇市立那覇中学校、若狭地域連携会議、若狭小学校区まちづくり協議会、  
NPO法人地域サポートわかさ、若狭公民館  
沖縄県吹奏楽連盟、沖縄県音楽研究会、日本マーチングバンド協会沖縄支部  
一般社団法人 Supporters' Supporter 他



## 次年度以降の展開

- ・コンクール等へ複数校で合同参加している学校へのアンケート調査
- ・校長会へのアンケート調査
- ・指導員の報酬実態と希望額の調査
- ・地域施設の実態調査
- ・安全管理の方法について模索
- ・指導者の研修・指導員の評価システムの構築

### 4.3.2. 先進事例資料

- 掛川市教育委員会「部活動地域展開推進事業について」  
<https://youtu.be/1mnWNA1Hvlg?si=PfPtuN31GxeVHr00>

- かけがわ地域クラブ設立連絡協議会「かけがわ地域クラブ実施体制（案）」  
[https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/fs/5/9/9/9/9/9/\\_/\\_\\_\\_\\_\\_](https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/fs/5/9/9/9/9/9/_/_____)  
\_.pdf

